

各位

2022年11月11日

会社名 THECOO株式会社

代表者名 代表取締役CEO 平良 真人

(コード番号: 4255 東証グロース)

問合わせ先 取締役CFO兼コーポレート本部長 森 茂樹

(TEL. 03-6420-0145)

通期業績予想の修正及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月10日の2021年12月期通期決算発表時に開示した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。また、法人税等調整額を計上しておりますので、併せてお知らせいたします。

1. 当期の個別業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,600	42	41	49	24.63
今回修正予想（B）	4,200	△250	△250	△300	△144.69
増減額（B－A）	△400	△292	△291	△349	－
増減率（％）	△8.7％	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2021年12月期）	3,482	△100	△119	△109	△59.78

2. 修正の理由

当社は、アイコンとそのファンが集い、アイコンとしての「価値」を提供したいアイコン側のニーズと、アイコンと「つながりたい」というファン側のニーズをマッチングさせるプラットフォームをアプリとして提供しているFanicon事業と、国内外の顧客に対してインフルエンサーを用いた広告施策等の提案及びオンライン広告の運用とコンサルティングを提供する法人セールス事業の2つの事業を行っております。

成長事業であるFanicon事業は、最も重要なKPIとしてアイコン数、ファン数（有料会員数）を追っており、2022年9月末時点でアイコン数2,461（前年同期比16.5％増）、ファン数201,852（39.6％増）と順調に成長しております。Fanicon事業の売上高は、大きくサブスク（月額利用料金）売上高と、サブスク外（ポイント購入、EC、チケット、その他）売上高に分類されます。

通期業績予想に関しては、2022年2月10日の業績予想発表後、新収益認識基準の適用等により、2022年12月期第1四半期からFanicon事業における一部の売上高（チケット、個別アプリ等）をネット計上に変更したことを主要因として、売上高は前回発表予想を400百万円下回る見込みとなりました。

コスト面については、期初に想定していた商品ミックスと比較して、比較的利益率の高いサブスク外（特にポイント購入）売上高の伸び率が予想を下回ったことによる売上総利益の低下の影響が約6割、また、上期に計上した大型ファンクラブの獲得費用をはじめ、その他多様な要因が重なり販促費等の増加が予想を上回ったことが約4割影響し、営業利益は、当初の計画を下回る見込みとなりました。

3. 法人税等調整額の計上について

当期純利益につきましては、繰延税金資産の回収可能性に関し、将来の業績動向等を踏まえ最善に見積りを行い検討した結果、前事業年度に計上していた繰延税金資産13,120千円を取崩し、同額を法人税等調整額に計上しております。

なお、上記業績予想の修正に関しましては、本日公表の「2022年12月期第3四半期決算説明会資料」にて詳しくご説明しておりますのでご参照ください。

※上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上